

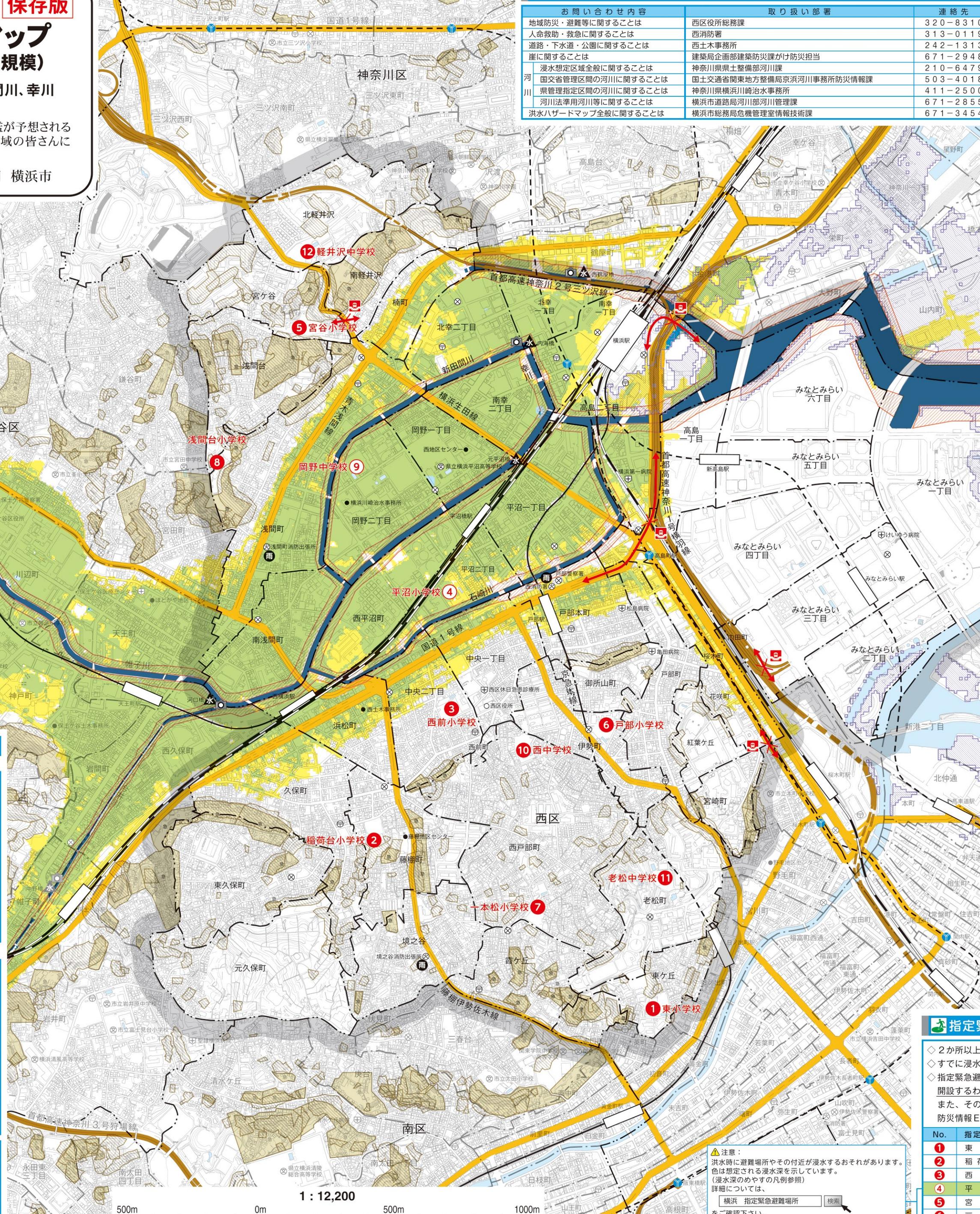


西区洪水ハザードマップ 洪水浸水想定区域(想定最大規模)

帷子川水系河川: 帷子川、石崎川、新田間川、幸川
帷子川分水路

この洪水ハザードマップは、帷子川水系の河川の氾濫が予想される場合や実際に氾濫した場合に、浸水が想定される区域の皆さんに速やかに避難していただるために作成したものです。

平成30年11月 横浜市



洪水浸水想定区域(想定最大規模)はどうやって決めたの?

こちらの面の洪水浸水想定区域^①の範囲やその深さは、想定し得る最大規模の降雨(24時間で約390ミリ)を前提として、川の水があふれた場合や堤防が壊れた場合をシミュレーションによって予測したものです。
(横浜市立地図では、平成26年10月5日から6日にかけて352ミリの降雨を観測しています^②。)
なお、この洪水浸水想定区域は、前提となる降雨を超えるような大雨、下水道等からの場合や、実際の浸水深と異なる場合があります。また、図面の表記上、複数の区域の浸水深は着色されておりませんので、詳しい浸水深は、神奈川県のホームページをご確認ください。

*1 神奈川県ホームページ
(http://www.prel.kanagawa.jp/docs/14i/cnt/13747/p1039490.html#katabira)

*2 横浜地方気象台ホームページ
(http://www.jma-net.go.jp/yokohama/b.htm)

情報を入手しよう

災害が発生する危険性が高まり、避難する必要が生じた場合に、横浜市は、「避難準備・高齢者等避難開始」、「避難勧告」、「避難指示(緊急)」のほか、「屋内での待避その他の室内における避難のための安全確保措置」の指標を発令します。

自動配信されるもの(PUSH型)

● 横浜市防災情報Eメール 要事前登録
あらかじめ登録したパソコン・携帯電話に防災情報等が配信されます。



登録方法 ● 二次元コードを読み取り
● 空メールを送信 entry-yokohama@bousai-mail.jp

防災アプリ 要事前登録

Yahoo!防災速報アプリをインストールしていくことで、横浜市からの防災情報をスマートフォン等で受信できます。アプリをインストール→



Twitterアラート 要事前設定

あらかじめ設定していくことで、避難勧告及び避難指示(緊急)等の情報を、スマートフォン等で受け取ることができます。



横浜市防災ツイッターアカウント @yokohama_saigai

● ファックス 聽覚障害者の方の自宅(要事前登録)、洪水浸水想定区域内の事業所等(要援護者施設を含む)に配信します。



緊急速報メール

緊急速報メールに対応した携帯電話に配信されます。

親水拠点警報装置・河川水位情報システムなど

屋外スピーカーからの音声放送やサイレンにより、災害発生の危険性や避難情報ををお知らせします。

緊急警報放送

テレビ・ラジオ等から警報音を発し、重要かつ緊急な災害情報を放送します。

広報車等による広報

状況に応じて、必要な地域へ広報車が出動します。

また、職員を派遣したり、消防局ヘリコプターを出動させることもあります。

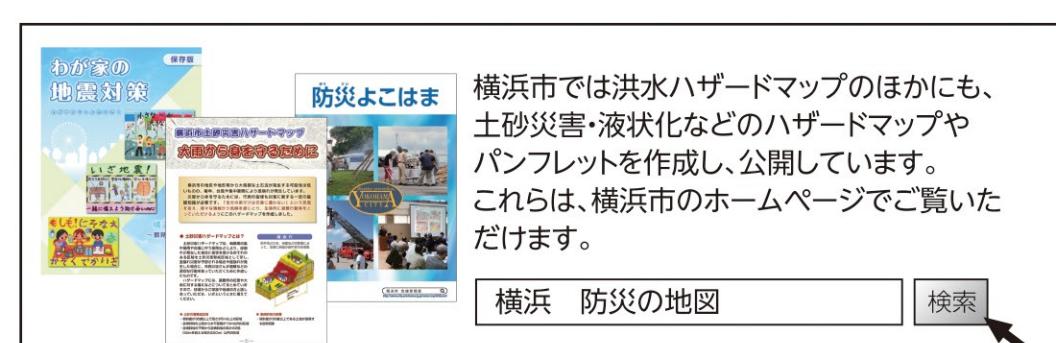


自分で情報収集するもの(PULL型)

ホームページ



● Twitter(横浜市防災ツイッター) @yokohama_saigai
● テレビ ● ケーブルテレビ ● データ放送 ● tvk(テレビ神奈川) データ放送
● ラジオ ● コミュニティFM放送



こんなときはどうすればいいの? —— 避難情報が出たら

気象・災害の状況

大雨による(重大な)土砂災害 や浸水害、河川の増水や氾濫により(重大な)洪水害が発生するおそれがある

※()は警報発表時の状況

台風や集中豪雨により数十年に一度の降水量となる大雨が予想されるなど、重大な土砂災害や浸水害が発生するおそれがある

おそれがある

大雨特別警報

大雨による被害が予想され、人的被害が発生する可能性が高まった場合

避難勧告

災害が発生するなど状況がさらに悪化し、人的被害の危険性が非常に高まった場合

避難指示(緊急)

災害による被害が予想され、市民のみなさんへ避難勧告を発令

対象地区に避難準備・高齢者等避難開始を発令

対象地区に避難勧告を発令

対象地区に避難指示(緊急)を発令

情報の種類

大雨・洪水注意報

雨量監視体制を強化

大雨・洪水警報

災害対策本部を設置

大雨特別警報

災害対策本部を設置

行政の対応

大雨特別警報

雨量監視体制を強化

大雨・洪水警報

災害対策本部を設置

大雨特別警報